



第2次岡山市環境基本計画(改訂版)

概要版

岡山市
2021年6月

岡山市がめざす環境像と環境目標

■岡山市環境基本計画とは

岡山市の環境の保全と創造に関する総合的・長期的な方針を示し、多様な自然環境と調和した豊かな暮らしを将来世代に引き継ぐための計画です。

■計画の期間

2016年度～2025年度

10年間の計画です

市民の皆さまの声や、市の最上位計画である「岡山市第六次総合計画」を踏まえ、岡山市が将来環境像である「豊かな自然と調和した持続可能なまち 岡山」の実現に向けて、4つの分野ご

環境目標

1

市民協働による環境づくりと 快適な都市環境が実現しているまち

市民・事業者・行政が連携し、かつ各自が主体的に環境保全活動に取り組むことにより、水と緑の保全・創出、地域の歴史・文化資源の活用を進めるとともに、誰もが安全で快適に利用できる空間を整備し、潤いとやすらぎを実感できる良好な都市環境の実現をめざします。

関連する
SDGsの目標



<岡山市がめざす環境像>

豊かな自然と調和した

環境目標

2

豊かな自然環境の保全と共生が実現しているまち

多様な生物の生息・生育地である自然環境を保全し、里地・里山・里海を継承し、野生生物を適切に保護・管理するとともに、市民が自然の重要性について再認識できるよう、自然と親しむことのできる場や機会を創出し、自然環境との共生をめざします。

関連する
SDGsの目標



～ SDGs（持続可能な開発目標）～

SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに達成すべき世界共通の目標です。
本計画においても、SDGsの視点を踏まえ、持続可能な社会の実現や経済と社会のグリーンイノベーションをめざします。



来“こんなまち”になってほしいという姿として、「岡山市がめざす環境像」を設定しました。
とに「環境目標」のもと、各施策を推進していきます。

環境目標

3

賢い選択による低炭素化と地球にやさしい活動が実現しているまち

脱炭素社会の実現に向け、私たち一人ひとりが温室効果ガスを排出する当事者であることを再認識するとともに、省エネ・低炭素な製品・サービス・ライフスタイルを賢く選択することで、地球にやさしい持続可能な社会の実現をめざします。

関連するSDGsの目標



持続可能なまち 岡山

環境目標

4

安全な生活環境と循環型社会が実現しているまち

これまでと同様に公害の防止や、廃棄物の減量化及び再資源化に取り組むとともに、人間の生命を維持する上で必要不可欠な「水」の大切さを再認識し、安全かつ健全で快適な生活環境の確保と循環型社会の実現をめざします。

関連するSDGsの目標



環境目標 1

市民協働による環境づくりと
快適な都市環境が実現しているまち

市民の声

- 🌱 高齢者や子どもに、やさしい環境を整えてほしいな！
- 🌱 市の環境情報について、難しい言葉を使わずに発信してほしい！
- 🌱 子どもたちへの環境教育を充実させて、さらに美しいまちづくりを託したい！
- 🌱 民間、行政、NPO等が協働していけるまちをめざそう！

水と緑の潤いのあるまちをつくろう

良好な緑の保全

おかやまガーデンリング構想に基づいて、良好な緑地を保全します。



西川緑道公園

まちなかの緑の創出

市民との協働により、まちなかの緑化を進めます。

水と緑のプロムナードの形成

西川・枝川緑道公園を整備するとともに、イベント空間の有効利用を促進し、身近に利用できる空間づくりを進めます。

安全で快適に通行できるまちにしよう

快適な通行空間の整備

安全・安心で快適に利用できる歩行空間の形成や、用水路の安全対策を進めます。



路上駐輪場

違法駐車等の防止

放置自転車対策や違法駐車対策を進めます。

まちの環境美化と快適環境づくり

ポイ捨てや路上喫煙の巡回指導や啓発、ボランティア清掃の開催などにより、美しく快適なまちづくりを進めます。

歴史・文化にふれる美しいまちにしよう

魅力ある都市景観の保全・形成

良好な景観の形成とともに、空家等対策計画に基づく空家対策を進めます。

歴史的景観と文化遺産の保全・活用

優れた歴史・文化遺産を保全、活用するとともに、市外へも積極的に情報発信していきます。



造山古墳

地域の伝統文化の保存

伝統文化の保存や文化・芸術活動を支援します。

環境教育・環境学習に取り組もう

環境教育・環境学習の場と機会の提供

操山公園里山センター、環境学習センターめだかの学校などの拠点となる施設を有効利用するとともに、環境学習の機会を充実していきます。



環境学習センター
めだかの学校

ESD地域拠点事業の推進

岡山市が先進的に取り組んできたESD（持続可能な開発のための教育）について、取組の拡充や連携・協働の強化を図っていきます。

協働して環境保全に取り組もう

市役所の環境保全行動の推進

行政活動全般での環境保全活動に取り組みます。

市民・事業者の自主的・積極的な取組への支援

「岡山市環境パートナーシップ事業」のエコボランティア活動やグリーンカンパニー活動を支援し、普及拡大に取り組みます。

市民・事業者・行政のパートナーシップの強化

市民参加による環境保全の取組を進めていくため、市民や事業者との連携を強化し、意識の共有を図っていきます。

各主体の自主的な取組を促進していくための情報提供

岡山市環境白書やホームページ、SNSなどにより、継続的に環境情報を提供していきます。

地球環境保全のための国際協力の推進

地球環境保全のため、国際協力や国際理解活動を支援します。

環境目標 2

豊かな自然環境の保全と共生が
実現しているまち

市民の声

- 🌱 岡山市全体でもっと自然が増えてほしい！
- 🌱 生物多様性に富んだまちを維持したい！
- 🌱 キャンプができたり遊べたりする自然公園がほしいな！
- 🌱 自然と共生した品格のある美しい田園都市をめざそう！

豊かな自然環境を守り育てよう

水辺空間の保全

水辺環境の保全とともに、情報提供の充実を図ります。



龍ノ口

森林の保全

山地や丘陵地のまとまりある森林を確保するため、保全地域指定などの規制・誘導手法を進めます。



操山

農地の保全

地産地消や環境保全型農業を推進するとともに、遊休農地の有効利用を図ります。



子ども食農体験



地産地消バスツアー

優れた自然等の保護

環境影響評価制度などにより、大規模な事業等に際して、地域の特性に応じた、きめ細かい環境配慮を行います。

多様な生きものをつなぐを大切にしよう

希少な野生生物の保全

野生生物の総合的な調査とともに、天然記念物アユモドキの人工繁殖による系統保存や自然繁殖地の拡大を図ります。

多様な野生生物の生息・生育環境の保全

多様な野生生物の生息・生育地である森林や河川、水路、湿地、農地などについて、市民協働により保全を図ります。

野生生物の適正な管理と保護

希少な野生生物の保護を行うとともに、鳥獣被害対策などに取り組みます。



岡山市の多様な生きもの

自然とふれあい親しもう

ふれあいの場の整備

市民が森林、里山・里海などの自然と気軽にふれあえる場を整備し、情報提供に努めます。



ふれあいの機会の創出

様々な自然体験プログラムを提供するとともに、幅広く参加してもらえるよう、さらなる情報提供と啓発に努めます。



水辺教室

←藤田公民館での自然観察会の様子
岡山市では、各地域の公民館単位でESDをテーマにした取組が盛んに行われています。自然観察会もその一つです。

環境目標 3

賢い選択による低炭素化と地球にやさしい活動が充実しているまち

市民の声

- 🌱 クリーンな電力を選択しよう！
- 🌱 新しく買う車は、環境に優しい車を選ぶよ！
- 🌱 岡山市の太陽光発電の普及率を日本一に！
- 🌱 グリーンカーテンや打ち水などの工夫で涼しく過ごすぞ！

暮らしと産業の低炭素化に取り組もう

産業における低炭素化の推進

工場等における低炭素型・省エネルギー設備機器や、再生可能エネルギーの導入を促進します。

業務活動における低炭素化の推進

事業所等における低炭素型・省エネルギー設備機器や、再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、低炭素型のビジネススタイルへの転換を推進します。

市民生活における低炭素化の推進

住宅における低炭素型・省エネルギー設備機器や、再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、低炭素型のライフスタイルへの転換を推進します。

省エネルギーで低炭素な製品やサービス、ライフスタイルを“賢く選択”することは、**COOL CHOICE(クールチョイス)**と呼ばれています。省エネ製品への買換えや、クールビズなどがCOOL CHOICEのひとつです。



低炭素型まちづくりを進めよう

低炭素な建物・まちづくりの推進

建物の省エネルギー化・低炭素化を進めるとともに、まちなかのLED化を進めます。

スマートエネルギーの普及

住宅や事業所においてエネルギーをつくり、ためて、賢く使うことによるエネルギー利用の最適化・効率化を推進します。

岡山市では、太陽光発電システムや電気自動車等を導入する場合の経費の一部を助成しています。

低炭素な交通施策の推進

公共交通の利用を促進するとともに、自動車利用の抑制・転換を進めます。また、自転車利用を推進するため、コミュニティサイクル「ももちゃり」の運用を進めます。

次世代自動車の導入促進

電気自動車や燃料電池自動車など、次世代自動車の普及に向けた啓発を進めるとともに、超小型EVの活用可能性を検討します。



燃料電池自動車

水素エネルギーの普及

家庭用燃料電池（エネファーム）等の普及拡大を図ります。

自動車用燃料の低炭素化の推進

ごみ収集車などでバイオ燃料を使用するとともに、自動車燃料以外への導入についても検討を進めます。

フロン対策の推進

フロン排出抑制法に基づいて、フロン類を使用している機器の適切な管理を促進します。

気候変動への適応策を進めよう

農業・水産業分野に関する適応策の推進

生産者に対する熱中症対策の普及啓発や、農業気象技術対策情報の提供を行います。

水資源分野に関する適応策の推進

浄水施設の水源を分散させたり、市民に対して節水を呼びかけたりします。

自然生態系に関する適応策の推進

野生生物の生息・生育環境の保全と回復等に取り組むとともに、鳥獣被害対策などに取り組みます。

自然災害に関する適応策の推進

ハザードマップの作成や、自主防災組織等の育成、止水板設置助成などを進めます。

健康に関する適応策の推進

熱中症対策のための幼稚園への冷房設備の設置やクールシェアの推進等とともに、感染症についての情報提供や注意喚起などを行います。

市民生活に関する適応策の推進

災害時における市民生活への影響を小さくするためのインフラ整備や、ヒートアイランド対策を進めます。

環境目標 4

安全な生活環境と循環型社会が
実現しているまち

市民の声

- 山・川・海をつなぐ「水」を守りたい！
- ごみの減少のためシェアリングサービス(物品の共同利用など)を利用するぞ！
- 騒音、大気汚染のないきれいなまちをめざそう！
- 災害に強いまちになってほしい！

きれいな水環境、健全な水循環にしよう

公共用水域の水質の把握

市内河川等の水質の測定を継続して実施します。

節水と地下水かん養の推進

雨水の地下浸透を高めるための植栽等に取り組むとともに、水の再利用を促進します。

家庭と工場・事業場の排水対策の推進

下水道等整備の推進とともに、生活排水対策の啓発を図ります。



使用済みの油はリサイクルに出しましょう。
バイオ燃料(BDF)に生まれ変わります。

ごみの減量化と資源化に取り組もう

4Rの推進

4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)を進めます。



廃棄物の適正処理

廃棄物の不適正処理を防止するため、事業所への監視・指導を進めます。また、最終処分量の削減などにより、最終処分場の延命化を図ります。

不法投棄の防止

不法投棄対策を強化し、不法投棄の未然防止やごみの適正排出を推進していきます。

安全で快適な生活環境を守ろう

工場・事業場等の発生源対策

工場や事業場からの大気汚染、騒音・振動、悪臭対策を進めます。
また、建物工事等に伴うアスベスト飛散防止に対応するため、監視指導の徹底を継続します。

自動車交通対策の推進

交通渋滞対策を進めるとともに、騒音低減効果の高い舗装材の活用など、道路環境の改善を図ります。

広域大気汚染対策の推進

光化学オキシダントや微小粒子状物質(PM2.5)の観測、監視を継続して実施するとともに、市民への確かな情報提供に努めます。

都市型公害の防止

ピアノや犬の鳴き声などの近隣騒音、野焼きなど、日常生活で起こる近隣公害の防止について意識啓発を進めます。

有害化学物質による汚染の防止

関係法令に基づいて、工場や事業場への規制・指導を徹底するとともに、情報提供を通じて市民の有害化学物質の理解を促進します。

減災と環境被害防止に取り組もう

災害に強い環境基盤の整備

太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を積極的に推進し、エネルギー源の多様化と分散化を図ります。

災害時の迅速・的確な環境保全対応

地域の防災面での課題などの情報提供や防災知識の普及啓発を進めるとともに、事業者・行政・地域などの連携による体制の整備を進めます。



未来の
ために、
いま選ぼう。

第2次岡山市環境基本計画(改訂版)【概要版】

2021年6月

発行 岡山市

編集 岡山市環境局環境部環境保全課

〒700-8554 岡山市北区大供1-2-3

TEL (086) 803-1282

FAX (086) 803-1887

E-mail kankyuhozen@city.okayama.lg.jp

